



かざはや

風早トンボサミット2019

【日時】 令和元年10月5日（土）
13：00～16：00



【場所】 北条ふるさと館1階研修室
松山市河野別府995 TEL 089-993-3266

風早（松山市北条地域）には、全国的にめずらしいオオキトンボをはじめ、いろんな種類のトンボがすんでいます。どうして風早が好きなのかな？ 親しみのあるトンボですが、数が減ってしまった種類もあります。トンボが身近に飛ぶ環境を次の世代に受け継いでいくために、私たちができることを考えてみませんか？



オオキトンボ



ナニワトンボ

■講演 「日本のトンボ・松山のトンボ」

尾園 暁さん(昆虫・自然写真家)

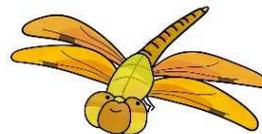
■トンボを守る活動の報告

■ディスカッション など

くわしい内容・
申し込み方法
はウラへ！



ミヤジマトンボ



- 主催 NPO法人 森からつづく道
- 協力 愛媛県生物多様性センター
- 後援 愛媛県、松山市、愛媛県教育委員会
松山市教育委員会、環境省中国四国地方
環境事務所四国事務所、四国環境パートナ
ーシップオフィス、(株)愛媛新聞社

この事業は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施します。



スケジュール・内容

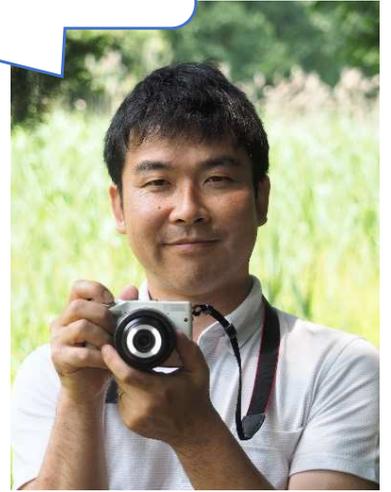
日本各地のトンボを観察・撮影してきた経験から、その中における松山周辺のトンボ相の特色と魅力をお話しします。

12:30 受付開始
13:00 プログラムスタート

■講演「日本のトンボ・松山のトンボ」 尾園 暁(あきら)さん(昆虫・自然写真家)

幼少から生きもの好きで、小学生のころトンボのかっこよさに魅せられて以来、筋金入りのトンボ好き。著書には写真絵本「ぜんぶわかる! トンボ」(ポプラ社)や、図鑑「日本のトンボ」(文一出版/共著)をはじめ、様々な昆虫の図鑑制作や写真撮影に携わっています。

マイフィールドは、神奈川県藤沢市の住宅街近くに残された谷戸や川沿いの緑地で、出会った昆虫たちはブログ「湘南むし日記」で紹介し、季節や環境の変化を伝えています。



13:45 ■休憩 ■写真展示「Aerial — 日本のトンボ・松山のトンボ—」尾園 暁さん 撮影

14:00 ■トンボを守る活動の報告



(1) 絶滅危惧種ミヤジマトンボの保護

鍵本 文吾さん(ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会)

(2) 「王越トンボランド」再生への取り組みと将来展望

三浦 大樹さん(王越とんぼプロジェクト実行委員会 副委員長、
ナチュラリストネットワーク香川 会長)



(3) 風早 オオキトンボの里づくりプロジェクト

- ①オオキトンボの生活史~3年間の調査より 久松 定智さん(愛媛県生物多様性センター)
- ②オオキトンボの里づくりプロジェクト、展開中 黒河 由佳(NPO法人森からつづく道)

15:30 ■ディスカッション「トンボから見えてくる地域の魅力を、次の世代に」

コーディネーター 松井 宏光(NPO法人森からつづく道 理事長)

日本にトンボは約200種いますが、それぞれ必要とする環境はさまざまです。
身近なトンボを見つめることによって、地域における人と環境の関わりに気付かされます。

お申し込み方法【締切 10月3日】

※当日参加も歓迎ですが、資料など準備の都合上、事前にお申込みいただくと助かります。

表に記入のうえ、次の連絡先にFAXするか、同内容をe-mailで送信してください。

NPO法人 森からつづく道(松山市鉄砲町1-7 TEL:089-992-9152)

FAX:089-992-9152 e-mail:info@morimichi.org



お名前(年齢)	(歳)	TEL	
ご住所			
FAX	(FAXでお申込みの場合)	所属団体	(おありの場合)
★オプション★ オオキトンボの産卵観察会 10:00 北条ふるさと館集合 先着20名	<input type="checkbox"/> 参加する (参加ご希望の場合、✓を記入)	10:00 北条ふるさと館ロビー集合→ ため池へ移動・オオキトンボ産卵の観察→ ふるさと館へ移動→ 11:30 一度解散 (昼食は近隣の飲食店利用、ふるさと館の 公園でお弁当など、各自ご対応ください)	